

特殊詐欺の発生状況（平成29年中） ～ 認知件数・被害額共に前年より増加～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（平成29年中）

- 被害認知件数は**111件**（前年比+15件）
- 被害総額は**約2億5,427万円**（前年比+約1億2,271万円）
- 認知件数のうち、架空請求詐欺が全体の半数を占める。（59件・53%）

2 平成29年12月中の認知状況

- 被害認知件数は**12件**（前年同月比+3件）
- 被害額は**約3,014万円**（前年同月比+約1,365万円）
- 手口は、
 - ◎ 振り込め詐欺 11件
 - ・ オレオレ詐欺 1件
 - ・ 架空請求詐欺（有料サイト利用料金名目） 8件
（その他の名目） 1件
 - ・ 融資保証金詐欺 1件
 - ◎ 振り込め詐欺以外の特殊詐欺 1件
 - ・ 金融商品等取引名目 1件

3 県内の特殊詐欺の傾向（平成29年中）

- **認知件数、被害額ともに増加！**

平成29年中は、前年と比較して認知件数・被害額ともに増加しました。特に架空請求詐欺については、平成29年6月以降の増加が目立ち、高齢者に限らず、幅広い年代の方にまで被害が広がっています。また、交付（お金をだまし取られる）形態では、コンビニエンスストアでプリペイド式電子マネーを購入させられたり、決済代行サービスでの支払いをさせられる手口が42件、特殊詐欺全体の約38%を占める結果となりました。

「電話」や「メール」で「お金の話」が出たら「詐欺」を疑い、すぐに家族や警察に相談してください。

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	平成29年中		
	男性	女性	計
～ 19	-	-	-
20 ～ 29	4	4	8
30 ～ 39	4	7	11
40 ～ 49	8	5	13
50 ～ 59	5	12	17
60 ～ 64	6	3	9
65 ～ 69	4	8	12
70 ～ 79	6	22	28
80 ～ 89	1	12	13
90 ～	-	-	-
合計	38	73	111
内65歳以上の高齢者	11	42	53

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	平成29年中 件数
振込型 （犯人が指定する口座に振り込ませる）	53
現金手交型 （犯人が直接現金を受け取る）	2
現金送付型 （郵便や宅配便などで現金を送らせる）	10
（決済代行サービス）	17
電子マネー型	25
キャッシュカード受取型	4
合計	111